



新型コロナウイルスの感染拡大による 金融市場の混乱と「野村ワールドボンド・ファンド」

ポイント



1. 主要国の金融当局は再び積極的な金融緩和を実施
2. 特殊な市場環境下で相対的に安定度の高い資産も割安化
3. 株式と債券の支え合いと当ファンドの安定性

1. 主要国の金融当局は再び積極的な金融緩和を実施

米国のゼロ金利復活も市場混乱は収まらず

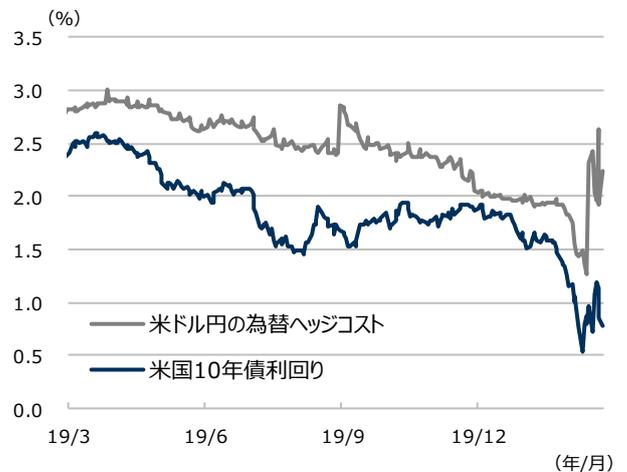
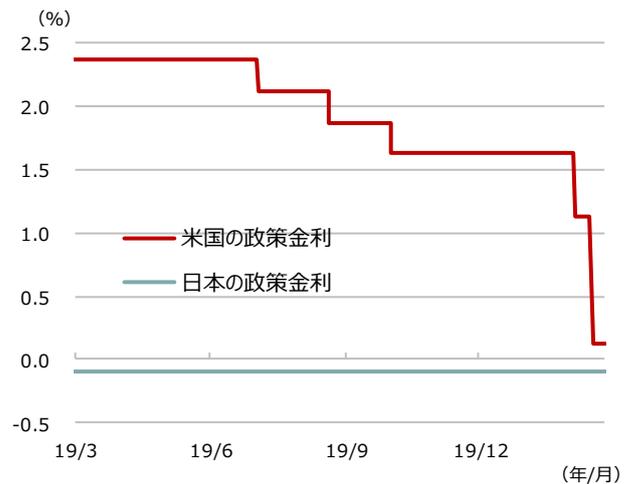
3月16日の日本時間朝、FRB（米連邦準備制度理事会）は政策金利の誘導目標を0～0.25%へと1%引き下げると共に、量的緩和策を復活させました。また、主要中央銀行を通じて米ドル資金の潤沢な供給を行うことを発表しました。

これら一連の施策は、新型コロナウイルスの影響により株式等のリスク性資産が大きく下落したことに加え、グローバルな金融市場において米ドル資金の流動性が不足している事態の緩和を狙ったものでした。

しかしながら、米ドル資金の流動性不足は継続し、日米の金利差の要因からは大幅に低下するはずの米ドル円の為替ヘッジコストは、米ドル資金への需要が強いことから依然として高止まりをしています（右下グラフ参照）。

一方で、FRBはその後も米ドル資金供給の手段や量的緩和策を拡充してきています。一時は現金化の動き等により売られていた米国10年債も買い戻される等、米ドル資金の流動性回復の兆しも見られています。

日米の政策金利と米国債券利回りの推移



期間：2019年3月29日～2020年3月23日、日次

(注) 米国の政策金利：FF金利目標中央値

日本の政策金利：日本銀行当座預金・政策金利残高適用金利

・米国10年債利回りはブルームバーグ・ジェネリック

・為替ヘッジコストは、米ドルの対円におけるスポットレートと3か月フォワードレートより野村アセットマネジメントが算出（年率換算値）

(出所) Bloombergのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

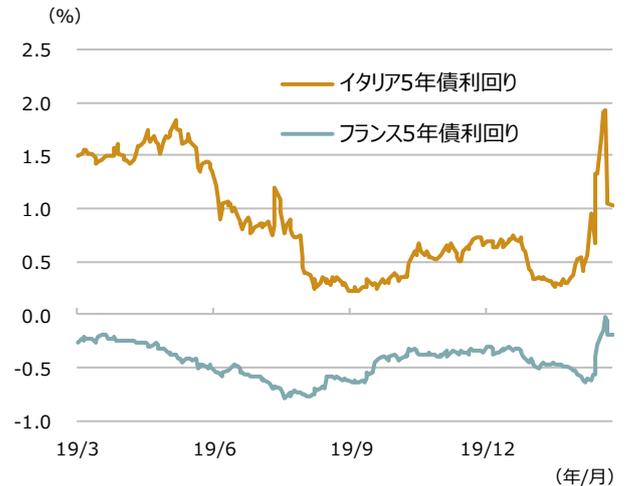
2. 特殊な市場環境下で相対的に安定度の高い資産も割安化

ユーロ圏の国債利回り上昇へのECBの対策

新型コロナウイルスの感染拡大の影響による市場の混乱はグローバルに広がっています。例えば、ユーロ圏の国債市場にも大きな影響を与えており、右上のグラフの通り、イタリアやフランスの国債利回りも大きく上昇（債券価格は下落）しました。

このような事態を受け、ECB（欧州中央銀行）は3月19日の日本時間朝、7,500億ユーロ規模の緊急資産買入プログラムを行うことを発表しました。3月12日の理事会での資産買入増額の決定時には増額の対象とされていなかった国債等も買入対象となったことで、フランスやイタリア等のユーロ圏の国債利回りは低下（債券価格は上昇）に転じました。

ユーロ圏の国債市場の推移



期間：2019年3月29日～2020年3月23日、日次
・イタリア5年債利回り、フランス5年債利回りはブルームバーグ・ジェネリック
（出所）Bloombergのデータを基に野村アセットマネジメント作成

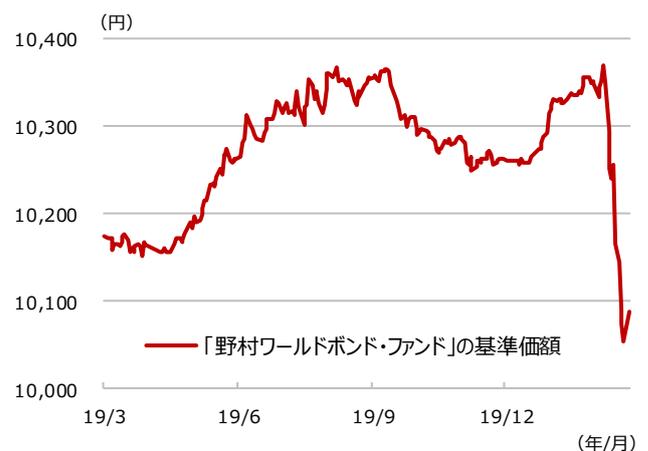
相対的に信用力の高い債券の投資機会

「野村ワールドボンド・ファンド」（以下、当ファンド）は比較的信用力の高い国債や政府関連の債券を主な投資対象としていますが、そのような債券までもが現金化の動きにより売られた投資環境下で、当ファンドの基準価額も下落しました。

一方で上述の通り、FRBやECBも今回の事態を重く見て、資金流動性の潤沢な供給や各種資産買入といった対策を矢継ぎ早に強化しています。

市場の混乱は直ちに収まるものではないと見られますが、各国中央銀行の対策が進むことで、先ずは当ファンドが投資対象とするような相対的に安定度の高い債券の価格が安定・回復していくものと考えられるため、今の状況は投資機会と捉えることができるのではないかと見ております。

当ファンドの基準価額推移



期間：2019年3月29日～2020年3月23日、日次
・上記期間において、分配金実績はありません。換金時の費用、税金等は考慮していません。
（作成）野村アセットマネジメント

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

3. 株式と債券の支え合いと当ファンドの安定性

株式と債券の間の相互に支え合う関係

右グラフは、世界株式指数と世界債券指数の四半期毎の騰落率（過去10年間）を示したものです。左下部分には株式も債券も下がった局面ですが、そのような局面は過去10年間で1回のみでした。この10年間について見れば、株式と債券のいずれかが下がる場合には、もう一方の資産は上がる関係があることが分かります。

現在の米ドル資金の流動性が大きく低下している特殊な投資環境下で、一時的に株式も債券も売られましたが、主要中央銀行の各種対策により、この関係性が戻ってくると考えております。

当ファンドの主な投資対象は先進国の国債等です。当ファンドを株式や株式ファンドと併せ持つことで株式と債券の間の相互に支え合う関係に類似した効果が期待できると考えられます。

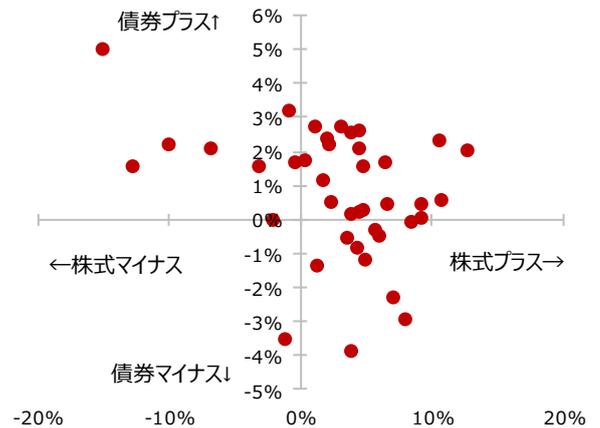
安定的なリターンを生み出す3つの収益源

当ファンドが主に投資する世界債券ファンド*は、先進国の国債等を投資対象としていますが、安定的なリターンを生み出す源泉は主に3つあります。

1つ目は為替ヘッジコストを加味した利回りです。金利水準やその国の金融政策の方向性など経済環境を総合的に判断し、投資する国・地域を選定します。2つ目は金利リスクの調整です。金利低下時に債券価格上昇によるリターンを獲得すると共に、金利上昇時は債券価格下落による悪影響を抑えることを目指します。3つ目は、為替変動です。為替ヘッジ取引を行って為替変動の影響を抑えながらも、円安が想定される場合は、為替ヘッジ比率を下げて為替差益獲得を狙います。

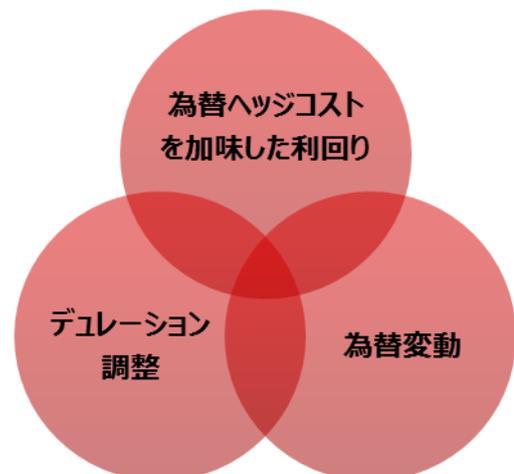
上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

株式と債券の過去10年間騰落率（四半期毎）



期間：2009年12月～2019年12月、四半期毎リターン（40四半期）
 株式：MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ヘッジベース）
 債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジベース）
 （出所） Bloombergのデータを基に野村アセットマネジメント作成

世界債券ファンド*の3つの主な収益源



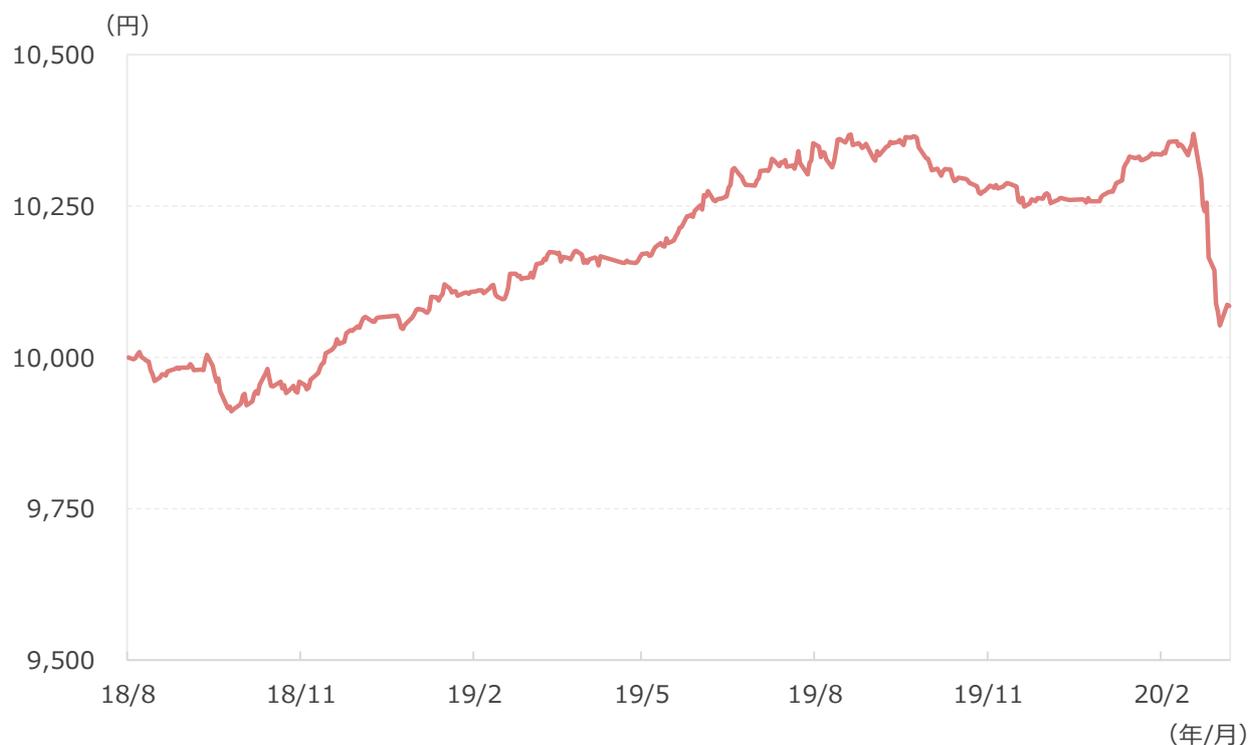
*世界債券ファンド：グローバル債券マザーファンド
 （作成）野村アセットマネジメント

「野村ワールドボンド・ファンド」

ファンドの運用状況

ファンドの基準価額の推移

期間：2018年8月17日（設定日）～2020年3月24日、日次



上記期間において分配金実績はありません。

<当資料で使用した指数の著作権等について>

- MSCI-KOKUSAI指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

「野村ワールドボンド・ファンド」

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
- 世界各国の公社債を実質的な主要投資対象^{*}とします。
 - ※「実質的な主要投資対象」とは、「グローバル債券マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 投資する公社債は、投資時点においてBBB格相当以上の格付（格付がない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含まず。）を有する公社債とし、日本を含む先進国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債、地方債）を中心に投資します。
- 市場環境、利回り水準、為替ヘッジコスト等を勘案して国別配分、通貨配分、デュレーションの水準を決定し、ポートフォリオを構築します。なお、ポートフォリオのデュレーションは、原則として0～8年の範囲内で調整します。
- 効率的な運用を行なうため、債券先物取引等のデリバティブ取引を利用する場合があります。
- 実質組入外貨建資産については、円建資産の額と外貨建資産のうち為替ヘッジ（他通貨による代替ヘッジを含みます。）を行なった資産の額との合計額（実質的な円建資産の額）を、原則として信託財産の純資産総額の90%±10%程度に維持することを基本とします。
- ファンドは「グローバル債券マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 原則、毎年5月15日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行いません。分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

^{*}委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

「野村ワールドボンド・ファンド」

【投資リスク】

ファンドは、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2028年5月15日まで(2018年8月17日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則、5月15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング スwitchingのお取り扱いのある販売会社では、「ストップライン付き野村ワールドボンド・ファンド」の換金代金をもって当ファンドへのスイッチングが可能です。スイッチングの方法等は、ご購入、ご換金の場合と同様です。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、「ニューヨークの銀行」の休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2020年3月現在)

◆ご購入時手数料	ありません。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.023%(税抜年0.93%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

《分配金に関する留意点》

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会/
 一般社団法人日本投資顧問業協会/
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村ワールドボンド・ファンド

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。